

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	がん幹細胞化に關与する Sphere 形成メカニズムを標的とした革新的治療開発
研究代表者	前原 喜彦（九州大学・大学院医学研究院・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、がん幹細胞の一つの特徴である sphere formation に着目し、そのメカニズムの解明とその阻害の検討から、新たながん治療の開発を目指すものである。sphere formation とがん幹細胞との直接的な関連についてはまだ明らかでない点もあるが、研究の焦点はよく絞られており、研究内容も極めて独自性が高い。また、応募者のこれまでのこの分野での研究業績と高い研究遂行能力から、本研究は実現可能性が高く、大きな研究成果が期待できる。さらに、本研究を推進することにより、がん治療の領域に新たな概念が生まれる可能性がある。</p> <p>本研究は、臨床応用されれば、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として推進すべき課題であると判断した。</p>